

「深い学び」を具現する授業デザイン例 道徳（中）

学習指導要領における領域・内容

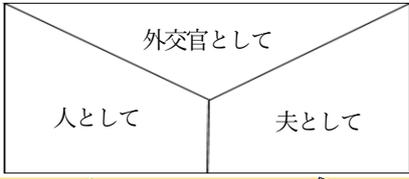
中学校（第2学年） C-18 【国際理解、国際貢献】
 主題名（垣根をこえて） 教材名「六千人の命のビザ」（『新しい道徳 2』東京書籍）

本時のねらい

世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与しようとする心情を育てる。

教材について

第二次世界大戦時、ヒトラー率いるナチス・ドイツは、ユダヤ人を迫害します。その迫害から逃れるため、ユダヤ人の一部は、隣国リトアニアに逃げ込みます。しかし、ソ連侵攻のためリトアニアにもいられなくなり、安全な地へ渡航するために必要なビザを求め、日本領事館に押しかけます。その当時外交官だった杉原千畝氏は、外務省の許可を得られぬまま、国外退去するまでの約一か月の間に、約六千人分のビザを発行し、ユダヤ人の命を救いました。

授業デザイン例	学習者の視点	授業者の視点
<p>視点①・⑥</p>  <p>もし見捨てたなら、日本の外交官はユダヤ人を見殺しにしたと、指摘されるかもしれない。</p> <p>人として助けを求めている人を見捨てられないと思う。</p> <p>ユダヤ人という理由で迫害するというのは、友好国のドイツがしていたことだとしても同意できないよね。</p> <p>視点②・⑩</p> <p>生徒のワークシートより</p> 	<p>学習者の視点</p> <p>杉原さんにはどのような悩みがあったのでしょうか？</p>  <p>日本の外交官として、指示を守る責任があるよ。ビザを書いてあげたいけど、書けない。</p> <p>自分が助けられたかもしれない命を見捨てたら、妻にとってもつらいことかもしれない。</p> <p>家族の思いを無視できないよ。立場や生活が危くなるかもしれないし、身の危険もある。</p> <p>いろいろな立場はあるけれど、立場を超えた共通の願いもあるはず・・・。</p> <p>Y字チャート（思考ツール）</p> 	<p>授業者の視点</p> <p>視点C・L</p> <p>もし、外務省の命令に従ったら？</p> <p>一緒にいた杉原さんの夫人は、何を思っていたら？</p> <p>視点M</p> <p>大使館の外で待つユダヤ人は、何を思っていたら？</p> <p>杉原さんがビザを書くことを決めたのはなぜでしょう？（中心発問）</p> <p>視点S</p> <p>杉原さんの生き方から学んだことは何ですか？</p>
<p>・ 人命を救うために自分ができることを真剣に考え、覚悟ある行動だった。私も、自分ができることについての考えをもつだけでなく、実現に向けた勇気をもてるようにしたい。</p> <p>・ 行動一つで、日本への見方が決まることもあると思う。杉原さんは、人命を大切にされたからこそ慕われている。もし自分だったら、そんな重い決断ができるとは思えない。でも、人として分け隔てのない命の重さは大事にしたい。</p>		<p>※ 事前の教材研究の際に、【国際理解、国際貢献】の内容項目の概要と指導の要点を把握し、本時のねらいにせまることができるようにする。</p>

本時における「深い学び」を具現する仕掛けや発問

- 「Y字チャート」（思考ツール）を活用し、杉原氏の葛藤等を整理した上で、中心発問を投げかける。このことにより、教材をもとにした価値理解、人間理解、他者理解について多面的・多角的に思考させることができ、深い学びが期待できる。授業では、国際社会において日本人だけに求められるものではない道徳的価値について生徒が気づくことができるように、板書等を活用して整理したい。（視点S→視点⑩）